

経済水道委員会
陳 情 一 覧

令和元年11月18日(月)

○観光文化交流局関係

(新規分)

令和元年陳情第8号 名槍日本号のレプリカの作成及び展示を求める件

令和元年陳情第8号

名槍日本号のレプリカの作成及び展示を求める件

陳情者 港区南十一番町1丁目1番地の16
伊藤 勇 三

要 旨

民謡の黒田節で有名な名槍日本号は、現在、福岡市博物館で展示されている。

もともと名槍日本号は福島正則が所有しており、宴の席で、福島正則が黒田官兵衛の家臣である母里太兵衛に対して酒を無理に勧めたところ、母里太兵衛が大杯になみなみと注がれた酒を飲み干し、その褒美として取得したもので、このエピソードは有名な黒田節として広く知られるようになった。

なお、名槍日本号は、正親町天皇より將軍足利義昭に下賜され、その後、織田信長を経て豊臣秀吉に渡り、豊臣秀吉より福島正則に与えられたものであり、名古屋市と縁の深い槍でもある。

歴史的価値のある名槍日本号を名古屋城において展示できるよう、レプリカを名古屋市で作成することを願います。

ついては、次の事項の実現をお願いします。

- 1 福岡市博物館所蔵の名槍日本号のレプリカを作成し、名古屋城において展示すること。